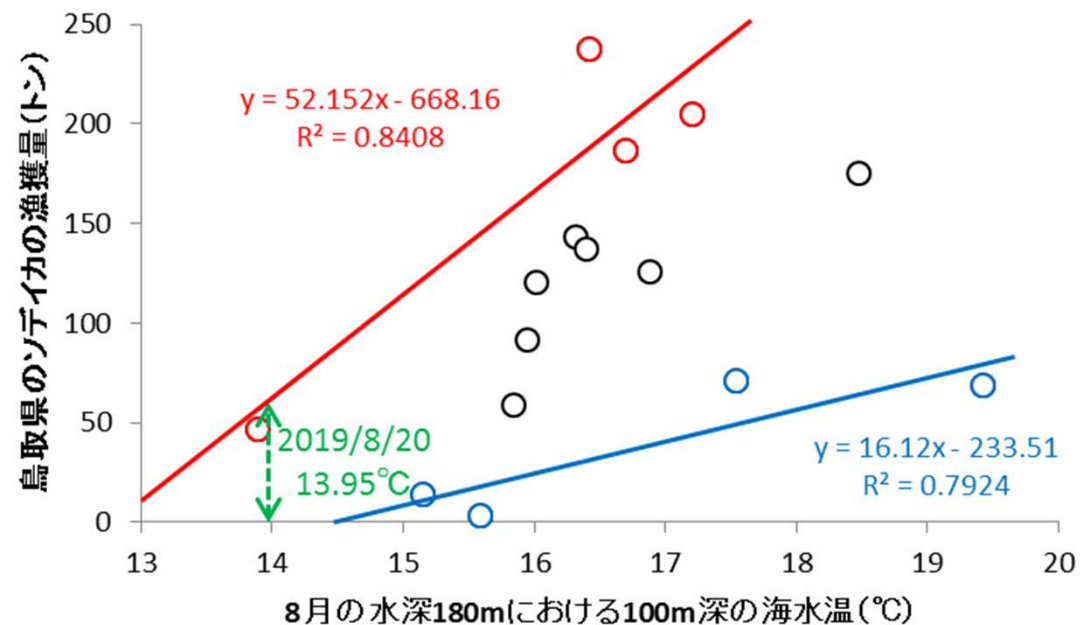


ソデイカ（赤いか）の漁況予測

令和元年8月20日発行
発行元：栽培漁業センター

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いかの漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行っています。予測漁獲量は約59トン、「直近5カ年平均程度」の見込みです。



【その他のソデイカ情報】

- 兵庫県但馬水産技術センターHP「令和元年度日本海ソデイカ（あかいか）長期漁況予報」より
 - ・過去5年平均と比べて「**やや多め**」
 - ・漁場形成は平年より**沖合にまで広がる**見込み
- 沖縄県水産海洋技術センターHP「漁海況情報」
 - ・今漁期（H30年11月～R1年2月）の漁獲量は、過去5年平均よりも「**多く**」推移

ソデイカ(赤いか)の漁期前試験操業と各地の水揚げ状況

(1) 漁期前試験操業(8/19鳥取県漁協賀露支所2隻用船)

- ・約3.5時間操業し、沖側(水深188~225m)、灘側(水深135~189m)ともに0尾
- ・操業海域は、賀露沖ライン134° 09'
- ・樽は基本的には西→東に流れていたが、水深170m以深でバラバラに乱れた
- ・海中に汚れ(繊維のようなもの)があり、これが悪影響

(2) 水揚げ状況(対象期間7/30~8/19)

- ・賀露地方卸売市場

8/11 4本:日本海箱1本入り3ヶ、3本入1ヶ(3隻)

ソデイカ(赤いか) 試験操業→顔見れず
水揚げ状況→例年より早めの水揚げあり
※前年並みには獲れそうです